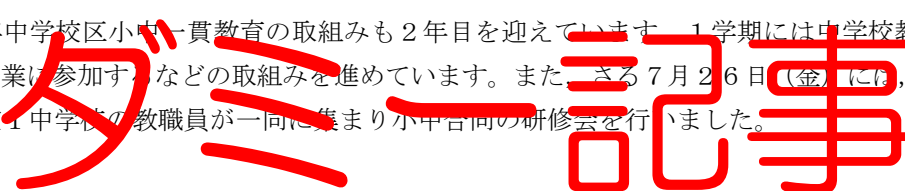


9月に入っても厳しい残暑が続いておりますが、保護者の皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、小中9年間で「人の話を正確に聞き取り、熟考し、自分の言葉で表現できる児童生徒の育成」をめざす千年中学校区小中一貫教育の取組みも2年目を迎えています。1学期には中学校教員が小学校に出向き授業に参加するなどの取組みを進めています。また、さる7月26日(金)には、千年中学校区3小学校1中学校の教職員が一同に集まり小中合同の研修会を行いました。



◎講演会：「聴く相手を意識した話し方」 講師 平野 敬子さん

教職員がめざす子どもの姿のイメージをより確かに持つため、エフエムふくやまパーソナリティーの平野敬子さんを迎え、「聴く相手を意識した話し方」と題してご講演いただきました。「あいさつを変えると何かが変わる」と言われ、「あいさつ」は「おはよう」

「こんにちは」という言葉とともに、笑顔とその後一言付け加えることが大切であると学びました。また敬語が話せない若者について触れ、日頃から年上の方などに敬語で話していないことにより、生徒は受験や入社試験で敬語を話そうにも敬語そのものを知らず、話せないという現状を話されました。学校では、引き続き「あいさつと合わせて一言」「場に応じた言葉づかい」に取り組んでいきます。



平野アナウンサーの講演の様子

◎1学期の取組みの振り返り

1学期には、各校が共通して次の6項目に取り組みました。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ① (学年に応じた) 相手に分かりやすい説明をする。 | ② (学年に応じた) 振り返りのできるノートを書く。 |
| ③ 読書をしっかりとする。 | ④ (学年に応じた) 家庭学習時間を確保する。 |
| ⑤ (学年に応じた) あいさつをする。 | ⑥ (学年に応じた) 就寝時刻を守る。 |

取組みの達成状況を把握するために、6月下旬に全ての児童生徒を対象にアンケート調査を行い、その結果を基に教職員が6つのグループに分かれ、取組みの成果や課題の分析を行いました。その結果、①と③が十分達成できていないことが明らかになりました。そこで、2学期は各校共通で「一時間の授業の中に、説明や意見交流の場をもつ」「毎週学校図書館で1人1冊本を借りて帰る」ことに取り組んでいきます。

ご家庭でもご協力をお願いいたします。

◎「笑顔であいさつ」+「一言会話」をする。

◎毎日家庭で10分以上読書をする。

2学期からも子どもたちのより良い成長を目指して、千年中学校区各小中学校が連携をして教育活動を進めていきます。



1学期の取組みの振り返りの様子